



サー・アンドラーシュ・シフ & 塩川悠子基金

被災地に音楽を届けるプロジェクト2015



2014年3月16日にサントリーホールにて、サー・アンドラーシュ・シフが行ったピアノ・リサイタル「東北に捧げるコンサート」につきまして、出演者の希望により出演料の全額を東北支援のため寄付する旨を事前からお伝えしておりましたが、この度、この出演料を「NPO 法人あっちこっち」の支援のために使うこととなりましたので、ここにご報告させていただきます。

「NPO 法人あっちこっち」は、2011年8月から、東日本大震災で被害の大きかった福島、宮城、岩手を中心に、音楽を通じた復興支援を続けている NPO 法人で、当初は手探りで始めた会も、「音楽・アートで笑顔を」をテーマに掲げ、これまでにたくさんの方に笑顔を届けています。

クラシック音楽を聴かせることが第一義ではなく、被災されたお年寄りから小さな子供まで、そこに集まり対話が生まれる。そして、つらい現実の中で コーヒーの香り、美味しいお菓子、そして若い演奏家が奏でる素晴らしい音楽を味わって心豊かにされている、という様子をアンドラーシュ・シフ、塩川悠子夫妻も知り、そこに共感されました。そこで、「サー・アンドラーシュ・シフ & 塩川悠子基金ー被災地に音楽を届けるプロジェクト 2015」と題し、彼らの活動を1年間支援させていただくことに至った次第です。

【活動内容】

1. カフェ・コンサート

<期間・回数>2015年4月～2016年3月の期間に、6回被災地へ訪問。

その期間12回コンサートを開催

<会場>被災地の仮設住宅集会所、公民館など、現地の公的機関（ボランティアセンター・役場等）の指定した会場にて開催

2. 交流コンサート

<開催日>2015年12月26日（土） 予定

<会場>宮城県七ヶ浜町国際村ホール 定員 577 名

十数回に及ぶ基金で開催されたコンサートで知り合った被災者とその家族が参加。また地元の子どもたちによる音楽やダンス団体との交流コンサート

*アンドラーシュ・シフのメッセージ

3年前、遠くヨーロッパで、大きなショックとともに東日本大震災のニュースを聞きました。そしてその後、日本の方々力が合わせて困難を乗り越えている姿を、尊敬とともに見てきました。失ったものは残念ですが、取り戻すことはできません。しかしながら思いを馳せることはできます。もちろん政治や経済が『復興』に尽力していると思いますが、最も重要なのは、人々による思い、思いやりだと思うのです。新しい生命、希望が生まれる未来があります。私たちはギブアップしてはならないと思います。

被災地にいつも思いを馳せ、その心を、音楽に託します。

— 2014年3月16日サントリーホール「東北に捧げるコンサート」にて